
flower ~喰う者と私~

藍崎寧々

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

flower～喰う者と私～

【Zコード】

N46411

【作者名】

藍崎寧々

【あらすじ】

ダメだと思いながらも運命に流され、生きてきた日々。

間違っていた行為。たった今、その過ちに気がつく。

「でも、もう遅い…」

残酷な少女の物語。

プロローグ 初めから

プロローグ 初めから

「ああ、何でこうなってしまったんだらつ
いまさらながら後悔した。

今まで、ダメだと思いつつも運命に逆らおうとせざ、ただ流れ
ままに生きてきた日々。

たたつた今、その過ちを正しておこうと…

もう遅い。

ああ、もうお終いだから…

プロローグ 初めから（後書き）

ご覧頂、ありがとうございます。
感想など、お待ちしております。

第7回 話 こつもの日常（繪書き）

平和な女子中学生を演じてきた。

いや、ほんとうにそうだったのかもしれないけど、

私はフツウじゃないことくらい、との昔に分かっていた。

これは、私の表の姿とでも言おうか…

こつもの日々。

食パンをかじりつつ、テレビを見、
髪をとかして登校。

毎日毎日…

私はただの中学生の少女です。
頭はいい方だけど、容姿がね…まあ、気にしないでください。
お兄ちゃんは一流の高校で、今まで一緒に頑張ってきた。

そう「色んなこと」を一人で。

こつもの日々の登校。

こんな私に彼氏なんていう大層なもんは一度も居たことが無いから、
1人で進み行くこの行為に対しても寂しさなど感じず生きてきたから別にいいんだけど。

学校に行って、ベンキョーして、休み時間には友達とペチャクチャしゃべって、やつじして、
部活やって、帰宅。

スタートからゴールまでほとんどすべて同じコース。繰り返される時間。

そんなある日、転校生がやってきた。

お父さんの転勤とかで。

「この時期で転校？」めずらしいな、なんて思つてた。

黒板の前に男子転校生が立つた。

「坂下 シンジです。お父さんの急な引越しできました。よろしくお願いします」

「うわツメチャ好みだよ…顔ヤバ！」

そりやあ、私だつて健康な若い乙女よ。惹かれたり、憧れたりするわ！

ああ、残念！遠い席だよ！…ちえつ

たまには「うつうつうつぽい感じもあつたりしていいわよね…どうせ叶わないって、あきらめてるけどね。

あ、そういうところが彼氏いないと「うひうひ」繋がつてくるのかなあ…

キーンコーン…

もう清掃の時間か…

ロツカーから簞を手に取る。

「ねえ、柊さん？」

語尾上げ氣味で聞かれた。

「は…」つづつ…！」

後ろ振り返つて驚いた！

だつてア「ガレの

「シンジ…くんだよね？」

だつたから…。

「そ。覚えてくれた？」

「そりやあね」かつかつ…」

「ふーん。柊さんつてモデルとかやつてんの？」

「ううん」

「へえ可愛いから…違うんだ？」

「…最近の男つつーもんはこうやつて口説くんだ！と、わなに分かりながらもハマつて行く私。ドジドジドジドジドジ 心臓が行進を始めた。

「シンジ君の方が、格好いいと思つ」

われながら恥ずいことを言つた！

「くすっ」 なぬ？

「恥ずかしいこというね」 私だつて思つたが、最初に言つたのはキミではなかろうか？

髪を振り上げ、笑顔で言つたシンジくんのヒトコト

「じゃあさ、今度デート行かない？」

ドク…ン…ドク…ン 心臓が後退をはじめた。

目が虚ろ

私の目はそんな感じになつていていたと思つ。やつぱムリ。シンジなんて所詮、所詮…

「ナルシシょう…！」

こんな毎日。

本当はとつても大切だつて、分かつてる。

転校生が来て、ナルシでいきなり失恋しても、これは幸せだなんていえないけれど、平和なこの日常が大切だつて、あの行為と比べれば…

断然ね。

「柊さん、掃除サボリだつて先生呼んでるよー。」
今はそれどころじゃないかも知れなけれど…

第壱話 いつもの日常（後書き）

閲覧ありがとうございます。感想、お待ちしております。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4641i/>

flower～喰う者と私～

2011年1月16日08時56分発行